

城南家保ニュース Vol.25-9

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

E-mail jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/1018/>



酷暑も何とか過ぎ、朝夕の涼しさに秋の気配が感じられます。季節の変わり目は、温度管理が大事になります。皆様・動物ともに体調万全でお過ごしください。

さて、今回の家保ニュースでは、先日行われた防疫演習・鶏病研修会の情報などを掲載します。

芦北・水俣地域 家畜伝染病防疫演習の開催

去る9月2日に芦北地域振興局・城南家保の共催で口蹄疫や鳥インフルエンザ等、家畜伝染病の発生を想定した防疫演習を開催しました。県の職員を中心に、市町村、警察署、消防署、地元JA、農業共済組合のほか、建設業協会など万一の発生時に防疫対策で協力体制を構築する関係機関が一堂に会し（出席者90名）、①海外での家畜伝染病の発生概要、②初動防疫の概要（発生農場における防疫措置）、③後方支援の役割概要などの机上演習、後半は、支援センター、現場事務所、消毒ポイント及び発生農場周辺の通行規制・消毒班ごとの分科会での検討会などについて討論を行い、活発な意見交換が行われました。

通常時の農家さんサイドでは飼養衛生管理の遵守による疾病予防に努め、不明疾病の場合の迅速な通報・連絡の重要性を認識いただき、万一の発生の場合には一刻も早い封じ込めが重要です。万一の口蹄疫・鳥インフルエンザの発生において、日頃の危機管理（関係機関との連携）の重要性を再認識していただく機会となりました。



防護服着衣・脱衣



分科会検討



講評・早田所長

平成 25 年度 熊本県支部鶏病技術研修会の開催

8月23日熊本市の中央家畜保健衛生所会議室において、上記研修会が開催されました。当家保から古庄幸太郎技師が提供話題「肉用鶏における栄養性起立不能症を疑う事例」について発表しました。出荷前における肉用鶏農場で起立不能・脚弱を主因に淘汰鶏が多いという症例について、詳細な検査により、飼料中のビタミンE・セレンの欠乏が原因と疑われた事例で、当該飼料添加と経済効果についても追及しており、審査員からも高評価をいただきました。



今後、管内の別農場の調査も実施し、農家の経済損失の低減に取り組んでいく予定です。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国	8月 5日	牛	A
		8月 5日	牛・羊・山羊	O
	ロシア	8月10、19日	牛	
		8月 8日	牛・羊	A
		8月16日	牛・豚	
高病原性 鳥インフルエンザ	インド	8月 5日		H5N1
	カンボジア	8月12日	家きん	H5N1
	イタリア	8月20日		H7N7
低病原性	台湾	6月19日		H5N2
		7月 3日	家きん	H5N3
	オランダ	7月31日		H7
狂犬病	台湾	継続発生中	イタチアナグマ	

2013年 9月1日現在

編集後記

ようやく、酷暑が少し落ち着いてきました。ツクツクボウシや蝸の声に秋のおとずれを感じます。最後にお知らせです。今年も球磨支部獣医師会主催で「動物フェスタ」が9月22日に人吉クラフトパークで開催されます。動物のいろいろな恵みに感謝し、かわいい動物（犬・猫）達に心を癒やされに是非おいでください。